



# AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.

## 巻頭言

### 日本人会名誉会長 引原 毅（駐ラオス日本国大使）

ラオス国日本人会の皆様、こんにちは。在ラオス日本大使館の引原です。2017年度最初の会報誌発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年 2016 年は、ラオスが国際的に大きな注目を集めました。ASEAN 共同体設立後初めての議長国という歴史的役割を担い、首脳会議や閣僚大臣会合等が多数開催されました。一年を通じて ASEAN 域内外から首脳を始めとする要人が数多く来訪しました。ラオスを巡る動向が、日本国内を含め、内外でこれほどかしましく報じられたことはついぞなかったと思います。振り返ってみれば、ラオスの議長国振りはなかなかのものだった、難しい状況の中で巧くバランスを取って取りまとめたというのが、大方の見方の一致するところでしょう。我が国も、ラオスが議長国としてのイニシアティブを発揮できるよう全力でサポートしましたので、この成果をうれしく思っています。

日本とラオスの関係も大いに盛り上がりました。両国間の関係は、一昨年の外交関係樹立 60 周年の機会に「戦略的パートナーシップ関係」へと格上げされています。昨年は、安倍総理大臣、岸田外務大臣、世耕経済産業大臣、稲田防衛大臣等、多数の政府要人等がラオスを訪問し、この戦略的パートナーシップの幅広い強化が図られました。その例は枚挙に暇がありませんが、一つだけあげれば、9 月の安倍総理訪問の機会に、トンルン首相との間で「日ラオス開発協力共同計画」が発表されました。ラオスが掲げる 2020 年までの LDC(後発開発途上国)脱却という国家目標の達成に向けて双方が共同で取り組むという初めての試みです。今後の両国協力関係の中期的指針となるもので、当大使館としてもその具体化に向けて鋭意取り組んでゆく決意です。

私はラオスに着任して約一年半になりました。昨年は上記の通りビエンチャンでの業務が随分立て込みましたが、その傍ら出来る限り地方にも足を運ぶよう心がけました。今までに約 4 分の 3 の県を訪問し、行く先々で豊か

な自然と文化、真摯で暖かい人々に心洗われる思いがしました。ラオスの継続的な経済発展が地方各地にかなり浸透していることも感じられます。各地独特の美しい織物や神秘的な洞窟巡りなど様々な楽しみがありますが、時には驚くほど洗練されたリゾート施設や絶品のイタメシに出会うこともあり、改めてラオスの懐の深さを思い知らされます。

邦人の皆様におかれては、そうした魅力と将来性にあふれるラオスにおいて、幅広い分野でご活躍頂いていることを、本当にありがたく、うれしく存じます。改めて言うまでもなく、当大使館における最優先事項は邦人関係業務です。ラオスで活動されている、あるいは縁あってラオスを訪問される邦人の皆様への支援をいつも第一に考えて、業務にあたるよう心がけています。そのために常に開かれ、皆様の関心に敏感な組織でありたいと思えます。当大使館に対するご要望やご意見がありましたら、いつでもご連絡を頂ければ幸いです。

当地に在留される邦人の皆様のますますのご健康とご成功、ラオス国日本人会のさらなるご発展をお祈りいたします。本年度もどうぞよろしく願い申し上げます。



## 本号内容

- (1) 巻頭言(名誉会長挨拶)
- (2) 2017 年度新理事からのご挨拶
- (3) 日本人会年間計画
- (4) 補習校便り
- (5) NGO/国際機関紹介
- (6) 大使館便り

## 2017 年度新理事からのご挨拶

### 会長、イベント担当:

#### 小泉 充(アジアの医療技術向上を支援する会)

ラオス国日本人会の会員の皆様

日頃よりラオス日本人会へのご理解とご支援を戴き誠にありがとうございます。今年もラオス日本人会の会長を務めさせて戴くことになりました。2011 年から理事を務めさせて戴き会長職も 3 期目となりました。なぜ長期にわたりラオス日本人会の理事を務め 3 期にわたり会長を務めるのか？会の運営方針が偏ってしまうなど好ましくないのではないか、等のご意見を頂戴いたしました。このご意見は多くの理事がもっともだと感じています。

なぜこうなってしまうのか、この疑問への回答は簡単でとにかく理事・会長の引き受け手を探すのが非常に困難であるという一言です。毎年理事探しは非常に困難な作業となっており前期理事の最悪の仕事となってしまう、お願いできる方が見つからなければ、仕方なく翌年も引き受けなければならない事態にもなります。ピエンチャン日本語補習授業校(以下補習校)の運営委員会も同じことが起こっていると聞きます。多くの方がお世話にはなるけど、お世話することは難しいとの考え方がその原因と考えますが、日本人会がラオスにおいて必要な団体でありその運営は補習校の運営とともに必要不可欠なものであるという事を会員様だけではなく、現在非会員である方にもご理解を戴き、皆様方より一層のご理解とご支援を戴ける会にして行くことが出来れば素晴らしいのではないかと思います。

日本人会会員、補習校関係者のみならず、その他の在留邦人にとっても是非とも入会したい日本人会とし、次の理事は自然に立候補者が出るような日本人会に盛り上げていくのが今年度の会長及び理事に課せられた課題だと思っています。理事一同頑張って日本人会を盛り上げていきたいと思っておりますところ、皆様におかれましても、ご協力宜しくお願いします。今年一年よろしく願いいたします。



### 副会長、法人グループ、イベント担当:

#### 松本 竜生((株)安藤・間)

2017 年度日本人会におきまして理事に選任され、副会長及び法人グループを担当することになりました(株)安藤・間の松本 竜生と申します。

日本人会の理事は 2016 年度から継続して 2 年目となります。去年度の経験を生かし、イベントを含め、日本人会がさらに盛り上がっていくように日本人会の運営に取り組んでいきたいと思っております。それには理事だけでなく日本人会会員の皆様一人一人に日本人会に関心をもってもらい、会員の皆様からのご協力を頂く事が必要です。

何卒、日本人会会員の皆様、更なるご協力の程、よろしくお願い致します。

### 副会長、メーリングリスト管理担当:

#### 黒崎 将仁(マルハンジャパン銀行ラオス)

昨年度に引き続き理事を務めさせていただき、マルハンジャパン銀行ラオスの黒崎と申します。本年度は僭越ながら副会長並びにメーリングリスト管理、会計補助、イベント補助をそれぞれ担当させていただきます。

私は 2014 年の半ばに当地に赴任し、周囲の方々には日頃若手扱いされておりますが気が付けば駐在 4 年目、30 代を目前としており色々考えると多岐にわたる今日この頃です。本年度の続投、ましてや副会長職をお受けすることは少なからず躊躇もございましたが、他の頼りになる理事メンバーと力を合わせ、気持ちを新たに組み立ててまいり所存です。至らぬ点もあるかと存じますが、皆様何卒変わらぬご支援の程お願い申し上げます。

### 渉外、イベント担当: 佐藤 豊(ラオス日本センター)

ラオス日本センター(LJI)の佐藤と申します。3 度目となる今期はイベント係をメインにお世話になりますが、くれぐれもよろしくお願い致します。可能な限り皆様の声に耳を傾け、多くの会員の方々が楽しく参加出来る様なイベントにしていきたいと思っております。是非ご要望等ありましたらお気軽にお声かけください。引き続き皆様のご協力・ご尽力をお願い致します。

**ビエンチャン日本語補授業校(補習校)担当:**

**倉田 美喜雄(JICA ラオス事務所)**

2017 年度日本人会総会で理事に再選任され、主にビエンチャン日本語補授業校を担当することになりました倉田 美喜雄と申します。本年度で 4 年目となります。

今年度は、日本人会がより魅力のある、未来志向の会になるよう活動を目指したく思っています。つきましては今までの理事経験そしてラオス国での経験を十二分に生かし、ラオスに来たら是非日本人会に加入したい、イベントに参加したいと言われるようないい活動ができますよう、理事の皆さんをはじめ、会員、関係者の方々のご意見を受け賜りながらみんなで一致団結して頑張っていきたいと思えます。

会員の皆様におかれましても、我々が対応しきれないくらいどんどんご意見、ご提案等を理事会へ投げてください。そのようなことがあれば大変うれしい限りです。最後に活動を通し、さらなる日本・ラオス国の友好に貢献できればと思っています。

**会報誌、HP 担当: 田村 暁子(在ラオス日本大使館)**

2017 年度の日本人会理事を拝命いたしました、大使館の田村 暁子と申します。本年 3 月末にラオスに着任したばかりで、会員の皆様や先輩理事の皆様にご教授いただくことばかりですが、何とぞよろしくお願いいたします。

一昔前のバンコクと二昔前のミャンマーで勤務をさせていただいたこともあり、東南アジアの生活には第 2 の故郷に帰ってきたような懐かしさを覚えております。大使館では領事として、ラオスに暮らす日本人の皆様のために一生懸命働く所存です。また、日本人会理事としても微力ながら皆様のお役に立てましたら幸いです。

**特別理事: パンニャーシット・パリカ(パスコラオ)**

日本人会の皆様こんにちは！昨年度に引き続き、理事を務めさせていただくパスコラオのパリカと申します。

2015 年は日ラオス外交関係樹立 60 周年に当たる年であり、日本とラオスの友好関係と相互理解を一層促進するということで、ラオス人でも準会員として日本人会に入会できることになりました。

今年度は 3 年目になりましたが、毎日勉強することになると思えます。日本人会にラオス人としてお手伝いできる限り精一杯協力を致します。本年も会員の皆様の御協力をお願いいたします。

**会計、NGO 担当:**

**持田 寿光((特活)歯科医学教育国際支援機構)**

会員の皆様、こんにちは。持田 寿光と申します。4 年目になりますが、引き続き理事を務めさせて頂くことになりました。今年度も会計を担当させていただきます。「もうその顔は飽きた」と言われると辛いのですが、どうかご辛抱ください。

日頃は NPO に所属し、ラオスの歯科医療の向上に務めておりますが、少しでも日本人社会になにか貢献出来たらと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

**書記、図書スペース、JICA 担当:**

**本村 公一(JICA ラオス事務所)**

理事を拝命しました JICA 企画調査員の本村(もとむら)と申します。中小企業海外展開支援を担当しています。JICA ラオス事務所には 2016 年 11 月末に着任しましたが、2001 年に仕事で初めてラオスに来て以来、NGO インターン、JICA プロジェクト専門家、カフェレストラン・オーナー、日系工場・工場長などで、ラオス経験は延べで約 5 年となります。日本人会会員の皆様のために、微力ながら頑張っていく所存です。日本人会では図書スペースを担当しますし、苗字にも本という字がありますので「本は本村さんへ！」(英語だと book village)と覚えいただけると嬉しいです(笑)。

**日本人会年間計画**

1. 2017 年 6 月 4 日 日ラオ友好武道センターにて運動会開催
2. 2017 年 9 月頃遠足の実施予定
3. 2017 年 12 月 10 日 ラオプラザホテルにてクリスマス会開催予定
4. 2018 年 1~2 月頃 ラオス日本人会主催チャリティバザー開催予定

[その他の事業]

1. 写真コンテスト計画中
2. ラオス日本人会記念事業の実施を計画

その他の事業については、会員の皆様より広くご意見や参加をお願いする予定です



## 補習校便り

ビエンチャン日本語補習授業校は、1997年にラオスに在留邦人会内に「日本語補習校設立準備委員会」が設立され、翌年、保護者、ボランティアの協力のもと、土曜週1回の授業から開校しました。2000年より週3回（現在は火・木・土）の授業を行っており、現在は、火曜日・木曜日は15:30～17:30の2時間、土曜日は10:00～12:00の2時間、合計で1週間に6時間、日本語による授業が行われています。

平成29年度になり、岩崎先生と黒須先生が新たに着任され、教員6人、ボランティア教員1人、小学生28人、中学生6人で新学期の授業が開始されましたが、その後2人の転入生があり小学生が30人に増えました。授業は単式クラスでの授業が3クラス、2学年が一緒に学ぶ複式クラスでの授業が3クラスであり、国語、算数、数学の授業が行われています。

補習校の目的に日本の学校に編入した際にスムーズに適應できるよう出来るよう学習することがありますが、もう一つの目的に日本文化を体験することというのがあります。補習校では、スポーツデイ、遠足、課外授業、餅つき大会などのイベントを行っており、子供達は昼間に通うインターナショナルスクールとは異なる日本人の友達と体験を共有しています。

また、補習校では、広報活動としてインターナショナルスクールにおける日本文化紹介活動も行っています。

補習校に関する問い合わせは代表アドレス (vientiane\_japanese\_school@yahoo.co.jp)までお願いします。転入や学校見学は随時受け付けています。

写真：補習校スポーツデー風景



## NGO/国際機関紹介

### AHEF (Asia Health and Education Fund) アジア保健教育基金)

私たち AHEF はサワナケート県の農村部で地域保健システムの強化に取り組んでいる NGO です。地域保健システムでは、住民による主体的な保健活動が重要です。ラオス農村部では病院や診療所が足りません。ですから病気にかかっても、必要な医療を受けることができない住民がたくさんいます。しかし、彼らを苦しめている病気は、適切な予防行動によって回避可能なものも多いのです。そこで、住民に自ら納得して予防行動をとってもらうために、正確な情報にもとづく啓発活動を展開することにしました。

啓発活動のカギを握るのは、モバイル技術(mHealth)と、地域保健人材です。mHealth については、交通不便な遠隔地にも今や携帯電話やスマホが普及しています。これを活用して感染症流行状況を監視したり、必要な情報を SMS で住民に配信するシステムを開発中です。

一方、地域保健人材とは、村落保健員や保健センター職員など、住民のそばで活動する人たちのことです。彼らには、住民啓発の役割が期待されます。村落保健員らを研修する施設が2013年、大使館の草の根無償資金協力によりセポン郡に整備されました。この研修施設を活用し、AHEF では今後2年間 JICA 草の根技術協力事業として研修を実施します。事業の目的は、村落保健員らを通して、妊婦健診に対する住民の理解を深め、ケア不足に起因する不慮の事故や乳児死亡を減らすことです。妊婦検診の研修では、同じラオスで活動している INGO アジアの医療技術向上を支援する会とも相互協力していく予定です。今後ともよろしく願いいたします。

AHEF 現地スタッフ：佐藤 慈(さとう・ちか)



## 大使館便り

みなさま「たびレジ」というのをご存じですか？

海外旅行する日本人の皆様が渡航先の安全情報などを手軽に受け取れるサービスとして、2014年7月にスタートしました。外国で事件・事故や災害が発生したとき、慣れない外国語でニュースをチェックするのは大変です。「たびレジ」に登録すれば、現地の大使館・総領事館から日本語で最新の情報がメールで届きます。また、緊急時には「たびレジ」に登録された電話番号やメールアドレスをもとに外務省が安否確認を行い、必要であれば迅速に支援を行います。

ラオスに3ヶ月以上お住まいの方は、大使館に「在留届」を出していらっしゃると思いますが(まだの方は今すぐご提出ください。「ORRネット」と検索してパソコンからも提出できます。)、たとえばタイなどの隣国へ旅行する場合には「たびレジ」へご登録ください。具体的な旅行日程を登録する本登録に加えて、旅行の予定は決まっていなくても状況をフォローしておきたい国を手軽に複数登録できる「簡易登録」もスタートしました。ラオスの周りの国や、ひんぱんに出張・旅行する国があれば、期限を定めずに簡易登録しておくとう便利です。

早速、お手元のパソコン・携帯で「たびレジ」と検索してみましよう！

## 編集部より

ラオス国日本人会会報誌「アジャレラネットワーク」では、皆様からの投稿をお待ちしております。会員の皆様に知っていただきたいこと等ございましたら、是非ご一報ください！

会報誌補助 本村 公一

## 法人会員

法人会員は日本人会の趣旨に賛同し運営にご協力いただいている企業です。  
ここでは、今回掲載を希望された8法人会員のロゴをご紹介します。(50音順)

 **Sumitomo Corporation**  
**Asia & Oceania**

アジア大洋州住友商事会社



**安藤ハザマ**

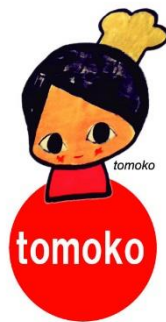
株式会社 安藤・間



**AML**  
~Always Drive Safety~  
AMZ MARUOUCHI LAO CO., LTD



**じゃぱん亭**



Tokyo Cake



**TOYOTA TSUSHO**

豊田通商株式会社

**和み処**  
**空**

日本国大使館近くに2016年  
7月オープン！！  
FB:/Qoo Japanese Restaurant



**MARUHAN**  
**JAPAN BANK LAO**

マルハンジャパン銀行ラオス